

よしみ

議会だより

平成29年
3月定例議会

No.147

- 平成29年度の各予算決定 P 2 ~
- 主な議案の内容 P 4 ~
- 一般質問に9名登壇 P11 ~

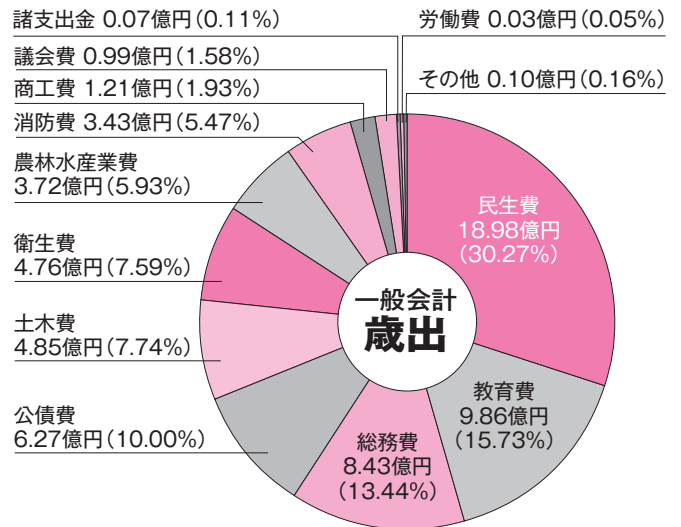
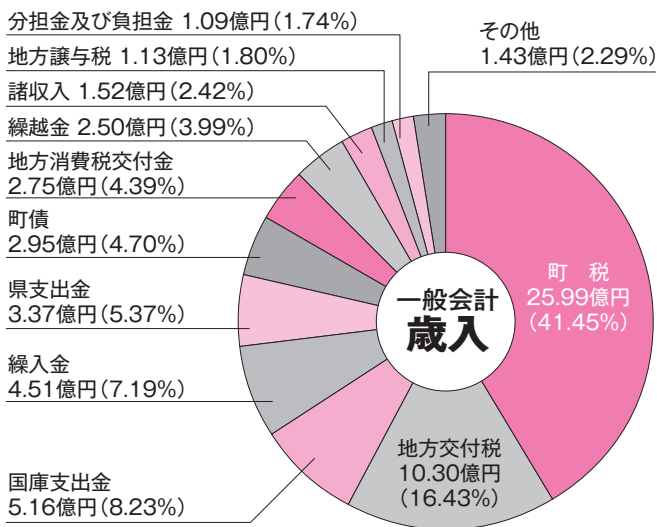


平成29年度の予算成立

3月定例会は、2月28日から3月17日までの18日間の会期で行われました。

平成29年度の各会計予算、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算、改正条例等27議案(請願を含む)が上程され、すべて可決、採択されました。

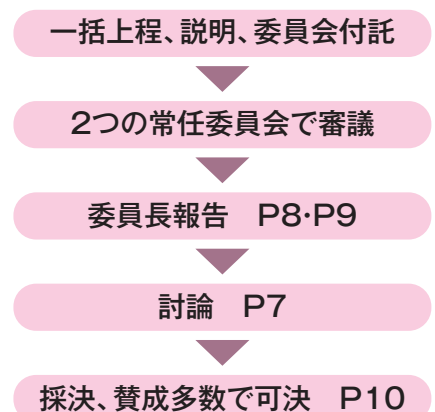
平成29年度一般会計予算



各種会計の予算は—

会計名		予算額
一般会計		62億7000万円
特別会計	国民健康保険	31億2000万円
	後期高齢者医療	1億6750万円
	介護保険	14億3929万5千円
	百穴管理	2305万円
	下水道事業	6億515万2千円
	農業集落排水事業	2億8400万6千円
	公設浄化槽事業	1928万6千円
企業会計(水道事業会計)		11億7952万円
合計		131億780万9千円

予算審議の流れ



平成29年度予算 こんなことに使われます

歩いて・参加して～健康づくり

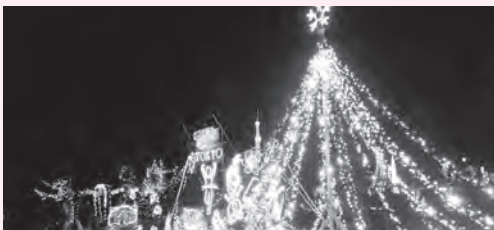
参加者募集
先着200名

県コバトンウォーキング事業&町健康づくりチャレンジ事業

- 国保との連携事業。参加者に歩数計を貸与、歩いた歩数によりポイント付与、抽選で商品をプレゼント
- 健康づくりの事業に参加でポイント付与、ためたポイントを地域通貨券に交換



昨年来場者3万人超



イルミネーションフェスタ参加団体に電球購入費の補助(上限3万円)

子育て世代定住化促進

子育て世代が町内に住宅取得で、新築50万円、中古25万円補助。
親との同居10万円、近居5万円をさらにプラス。
また、子育て世代が親との同居のため既存住宅を増築で上限20万円補助



解体後は図書館等複合施設を建設



昭和48年に建設された中央公民館の解体

B&G体育館改修



アリーナの床の研磨、トイレ改修、照明器具交換など

道の駅で観光資源をPR



トイレの洋式化と併設される情報発信拠点を整備

- 吉見中学校トイレの洋式化・給排水管等改修
- 脳健康度チェック(今年度70歳が対象)
- 町民行動基本計画実施計画策定
- 庁舎エレベーター改修
- 松山城跡の公有地化
- 生活習慣病重症化予防
- 黒岩配水場の配水池改修

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

●議案第3号 吉見町税条例等の一部を改正する条例

内容 軽自動車税環境性能割の創設・法人町民税の引き下げ・町民税の住宅ローン控除制度の延長

主な質疑

問 消費税の引き上げ時期に合わせて条例改正が行われる理由は。

答 消費税率の引き上げの延期に伴い、様々な税制が据え置かれており、今回の改正も歩調を合わせたもの。

町の税収への影響は。

法人町民税は、決算ベースで5千万円程度減収となるが、地方法人税引き上げの原資となるため、必ずしもマイナスになるかどうかは分からない。

反対討論 日本共産党 杉田しのぶ議員

今回の条例改正は、消費税の引き上げが前提としてあり、町民にとっても計り知れない影響があることから、国に対して抗議の意味でも反対する。

●議案第6号

吉見町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内容 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する町の基準を定める

主な質疑

問 権限移譲されることによって、今後自治体間で格差や違いが生じることはあるか。

答 国で従うべき基準が定められているため、自治体間格差は生じないと認識している。

反対討論 日本共産党 杉田しのぶ議員

事業所の運営の透明性の確保等は、利用者にとっていい面ではあるが、介護の基本報酬を引き下げたまま事業所に新たな対応を求めるのではなく、一体として改善されるべき。

●議案第7号

吉見町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内容 指定介護予防認知症対応型通所介護サービス等に係る所要の改正

主な質疑

問 町内に該当する事業所はないとの説明だが、町民が利用する場合近隣にはどこにあるのか。

答 鴻巣に1か所、熊谷に2か所。当該市町村と協議をして、施設に余力があれば受け入れてもらえる。

反対討論 日本共産党 杉田しのぶ議員

介護を担う労働者、事業所が安定してサービスを提供できることが、利用者や家族の安心につながるものと考え、第6号議案と同様の理由で反対する。

●議案第9号

平成28年度吉見町一般会計補正予算(第7号)

内容

既定の予算額に9954万7千円を追加し、予算総額を64億6262万6千円とする

一主な歳入一

	(1万円未満切り捨て)
○国庫支出金	3210万円
○県支出金	△464万円
○諸収入	1664万円
○町債	5430万円

一主な歳出一

	(1万円未満切り捨て)
○重度心身障害者医療支給費	△400万円
○国民健康保険特別会計繰出金	△1億 84万円
○児童手当	△774万円
○保育所臨時雇用賃金等	△734万円
○情報発信拠点施設設計等委託料(道の駅)	1210万円
○仮設トイレ設置管理委託料	300万円
○情報発信拠点施設整備工事及び備品購入費	4180万円
○下水道事業特別会計繰出金	△597万円
○中学校トイレ改修工事及び設計業務委託料	4900万円
○財政調整基金積立金	1億4519万円

主な質疑

問

情報発信拠点施設設計等委託料が高額になっている理由、また、内訳は。

答

国の補正予算を獲得するための申請期間が短期であったことから、概算見積もりを採用したため。また、設計委託が1100万円。建築確認等委託が110万円。

増築される部分との接合部は屋根が複雑になっているが、その対応は。

予算の範囲の中で対応したい。

ユニバーサルデザインなど乳幼児や障害者への配慮は。

十分検討する。

道の駅の仮設トイレの場所と構造は。

駐車場付近で工事に支障が出ない場所に汲み取りのものを木造で10基つくる予定。

中学校のトイレの具体的な改修の内容は。

トイレの異臭の原因が尿管等にもあるため、全面改修したい。和式、洋式も含め、学校現場の意見を聞きながら進めていきたい。

中学校の公共下水や集落排水への接続の考えは。

現在は合併浄化槽が使える状況。接続については費用対効果の面などとあわせて検討をしていく。

先進事例を参考に、限られた予算でよりよい改修ができるように、情報の収集をし活かす考えは。

「学校のトイレ研究会」にも積極的に参加をして、よりよい改修になるように進めていきたい。

議員

提出者

●議案第16号 平成28年度吉見町水道事業会計補正予算(第4号)

内容

営業収益を3688万7千円減額し、6億6253万1千円とし、営業外費用を273万2千円減額し、5242万1千円とする

主な質疑

問

水道事業収益が大幅に減収になっている理由は。

答

大口企業による水のリサイクルの設備が順調に稼働しているため。

議員

提出者

みなさまからの請願2件を審査

採択

請願第1号 アスベスト被害を拡大させないよう町による対策を求める請願

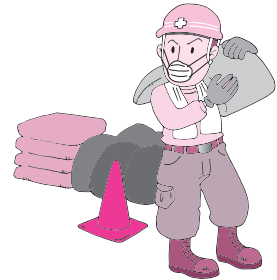
全員賛成

提出者 埼玉土建 東松山支部 支部長 中山 隆

紹介議員 杉田しのぶ

趣旨

- 1.改修・解体を伴う作業従事者や近隣住民が被ばくしないよう、事業者に対しアスベスト対策の実施・強化を求めること。
- 2.アスベストの飛散の恐れのある家屋の解体に際し、事業所が必要なアスベスト対策を行うよう求めること。
- 3.アスベスト関連疾患の場合は、町内の医療機関が職歴を確認し、職業病の可能性があることを患者に伝えるよう指導すること。
- 4.国に対しアスベスト問題の早期解決と被害者救済を求める意見書を提出すること。



国に対して「アスベスト問題の早期解決と被害者の救済を求める意見書」を提出(3月17日)

継続審議

請願第2号 「農業者戸別所得補償制度」の復活を求める請願

提出者 埼玉県農民運動連合会 会長 立石 昌義

紹介議員 杉田しのぶ

趣旨

欧米では当たり前となっている経営を下支えする政策を確立することが必要と考え、当面は生産費をつぐなう農業者戸別所得補償制度を復活させて、国民の食糧と地域経済、環境と国土を守ることを求める。

町議会を傍聴してみませんか

吉見町議会 6月定例会

6月13日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)



傍聴席

平成29年度一般会計予算

反対 討論 日本共産党 岩田 晃一議員

部落解放運動団体への補助金132万5千円は、町内で差別事象もないため、全廃すべきである。新ごみ処理施設の建設は、裁判まで進んでいく状況が明らかである中、進めていくべきではない。国民健康保険事業は広域化への予算計上があり、県が示している市町村ごとの広域化後の保険税はほとんどの市町村で引き上げとなり、加入者にとって何のメリットもない広域化は反対。後期高齢者医療制度は10月から見直され、段階的に保険料が引き上げとなる方が多くいる。これは国や県で決定したことだが、地方議員としては認められないという立場で反対する。

賛成 討論 岩崎 勤議員

一般会計歳入は、企業誘致の結果として固定資産税が増となり町税が増収となっている。国・県等の補助金獲得も評価できる。歳出は、商業施設等の立地の調査研究費用、公共交通等に関する実施計画策定事業、健康づくりチャレンジポイント事業、生涯学習施設充実、子育て世代定住化促進奨励金の拡充など町民の願いを叶えようとする取り組みが盛り込まれている。

また、糖尿病重症化予防や認知症予防の新規事業などが含まれる7特別会計、水道事業会計も限られた財源を有効に活用した予算編成となっている。

反対 討論 戸谷 照喜議員

1. 昨年12月議会で反対したとおり「部落差別の解消の推進に関する法律」が成立、これに基づく予算措置であり、賛成できない。
2. 埼玉中部資源循環組合は、まだ出発したばかりだが「和解調書」を無視し、地域住民そっちのけにした進め方に正当性も大義もない。住民にあからさまに背を向けた重大な問題をかかえた予算であり、反対する。

賛成 討論 小宮 榮議員

教育では、漢字検定が継続となっている。子供の向上心が期待できる。中央公民館解体工事内容もアスベスト対策のため費用は大きいですが、杭を残し再利用する方法はよく考えられている。観音地区クリーン施設を廃止し、北部クリーン施設と合併するという老朽化対策、道の駅のトイレ改修工事や健康マイレージ事業も良いと思う。埼玉中部資源循環組合の施設も早期に建設できるよう願っている。

歳入では、多くの補助金を活用している点を評価する。

人口減少対策の子育て世代定住化促進 奨励金を3年間延長し、助成内容も拡充



総務建設常任委員会 予算審議報告

杉田しのぶ 委員長

平成29年度一般会計予算のうち、本委員会が所管する議会費、総務費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目、平成29年度特別会計予算のうち、百穴管理、下水道事業、農業集落排水事業、公設浄化槽事業、水道事業会計の歳入及び歳出について予算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

子育て世代定住化促進奨励金のさらなるPRを

親との同居・近居に対して奨励金を増額するとともに、親と同居するための家屋の増築に対する奨励金を新設し、子育て世代の住宅購入等の負担を軽減し、本町に居住する動機づけとするなど、人口減少対策を進めます。

これに対し、インパクトのあるパンフレットを作成し、さらなるPRに努め、大きな成果につなげてほしいと要望しました。

集会所修理費補助金の拡充内容は

平成29年度から集会所の付属施設（倉庫・塀・フェンス）も補助対象とします。

商工会への補助金の増額を

商工会の事務全般にかかる費用を始め、観光PR事業、特産品PR事業など町と連携して行っている事業に対して補助を行い、地域の活性化に向けて共に取り組んでいます。

これに対し、商工会の事業負担も多くなっており、今後の事業や体制の充実を図る意味でも、補助金の増額を検討してほしいと要望しました。

不法投棄を監視する防犯カメラの活用方法は

街灯等に取付けが可能な小型のもので、SDカード保存し、パソコン等でデータを管理します。これまでに不法投棄が確認された西地区山林、荒川河川敷等への設置を予定しています。また、行政区への貸し出しも検討しています。

吉見町産米ネット販売の割引率を下げる理由は

今後、協議会が自主的に運営が行えることを目的に事業を進めており、割引の魅力ではなく農家が自らPRするための費用も補助しながら、米の魅力で販売できるようにしたいと考えています。

産業交流拠点拡充整備検討業務における 商業施設等の設置場所は

第五次吉見町総合振興計画で、産業交流拠点として位置づけがある「道の駅いちごの里よしみ」周辺を前提としていますが、具体的な場所は平成28年度の調査結果をふまえ、関係機関と調整を図りながら、区域の設定や整備手法を検討していきます。

百穴場内整備工事の内容は

百穴大駐車場の南側広場に桜や植栽を眺めたりできるような広場として景観を整備します。

これに対し、構内の手すりや柵なども老朽化や劣化によって危険な箇所が見受けられるため、点検や修繕をするよう要望しました。

消火栓を使用後は点検を

消火栓の点検・清掃・修繕・更新を実施するもので、設置年度の古いものを選定して点検を実施しています。

これに対し、火災時に使用した消火栓は、消火活動による圧力変化で管が変形するなどの影響が発生しやすいため、使用後の点検を行うよう要望しました。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決した次第です。

町民の自主的な健康づくりに チャレンジポイント事業立ち上げ



教育福祉常任委員会 予算審議報告

荻野 勇 委員長

平成29年度吉見町一般会計予算のうち、関連する歳入及び歳出の総務費、民生費、衛生費、教育費及び平成29年度特別会計予算の国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の歳入及び歳出について予算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

寝たきり老人手当の支給対象となる基準は

在宅の65歳以上の高齢者で、疾病等により寝たきりの状態にある方または重度の痴ほうで、その状態が6か月以上継続している方が対象となります。

「よしみ健康づくりチャレンジポイント事業」の参加条件は

町内在住の18歳以上の方で先着約200名、内訳は個人枠先着100名、家族枠先着30家族、地域枠先着3行政枠を予定しています。また、埼玉県健康マイレージ事業への参加が必須となります。

国は保育士の処遇改善に取り組んでいるが町は

臨時職員の賃金については平成27年度から毎年度改訂が行われています。今後も質の高い保育士を確保するために関係課と調整を図ります。

これに対し、保育士の安定した雇用の確保はより良い保育を提供し、子育てしやすい町づくりに重要であるので処遇改善に努めてもらいたいと要望しました。

計画的な学校ICT環境の整備については

小学校のパソコン教室を整備してから11年が経過、機器の故障やインターネットへの接続に時間を要する等のトラブルが発生しているので、今後検討していきます。

これに対し、児童生徒のパソコン教室の更新だけでなく、教師用パソコンの1人1台の設置や電子黒板の導入なども、教員の負担軽減を図るため検討してほしいと要望しました。

人口減少が進む中で公民館の今後の在り方は

各地区とも生涯学習活動の拠点施設として地域の実情に合った事業を展開し、地域活性化の一助を担っています。今後人口減少及び施設の老朽化が進む中で、町民ニーズ及び施設の利用状況などを考慮し、公民館の在り方について検討していきます。

図書館等複合施設のコンセプトは

町民一人ひとりが心豊かで輝きのある町づくりを推進するため、町民の生涯にわたる自主的な学習を支え「人と本」・「人と人」が出合い、新しい発見と交流が生まれる拠点施設の整備に取り組むこととしています。その基本コンセプトは、学びの拠点・情報発信の拠点・交流の拠点の3点と定めています。

後発医薬品の利用率の状況は

町国民健康保険における利用率は徐々に上昇しており、最近では60%を超えています。しかし、県内の他市町村との比較では低い利用率となっています。

在宅介護を進めるための施策は

地域ケア会議において介護支援専門員を中心に介護職員の資質向上を図る間接的支援を行っています。今後は家族の介護力向上を目的とした直接支援策について検討していきます。

これに対し、要介護になる前から家族に介護知識が十分にあれば在宅介護の増加も期待できるので、実践的な講習会の開催などに取り組むよう要望しました。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり可決すべきものと決した次第です。

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	杉田	小林	内野	小宮	安孫子	
議案第1号	吉見町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第2号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第3号	吉見町税条例等の一部を改正する条例	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第4号	吉見町重度心身障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第5号	吉見町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第6号	吉見町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第7号	吉見町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第8号	吉見町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に係る職員等の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第9号	平成28年度吉見町一般会計補正予算(第7号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第10号	平成28年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第11号	平成28年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第12号	平成28年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第13号	平成28年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第14号	平成28年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第15号	平成28年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第16号	平成28年度吉見町水道事業会計補正予算(第4号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第17号	平成29年度吉見町一般会計予算	可決	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第18号	平成29年度吉見町国民健康保険特別会計予算	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第19号	平成29年度吉見町後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	●	—
議案第20号	平成29年度吉見町介護保険特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第21号	平成29年度吉見町百穴管理特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第22号	平成29年度吉見町下水道事業特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第23号	平成29年度吉見町農業集落排水事業特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第24号	平成29年度吉見町公設浄化槽事業特別会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第25号	平成29年度吉見町水道事業会計予算	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

議員提出議案(追加)

請願第1号	アスベスト被害を拡大させないよう町による対策を求める請願	採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
発議第1号	アスベスト問題の早期解決と被害者の救済を求める意見書(案)の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

「—」は議長のため、採決に加っていません。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。

災害における 協力協定

伊与田 隆 議員



問 各自治体では、災害時における協力協定を締結しているが吉見町は、どのような協力協定を締結しているか伺います。

答 大規模災害時は、町単独での応急対策活動を実施することには限界があります。町では、町民の生命・財産を守るため、他市町村との相互応援協定や民間事業者・団体など20の協定を締結しています。

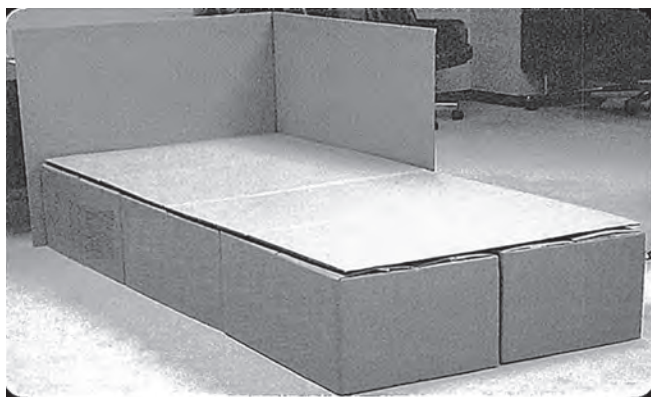
問 埼玉県では、昨年4月に発生した熊本地震に職員を派遣し支援活動を行いました。避難所の生活改善に段ボール製の簡易ベッドが大変役立っていると、報告されています。県では、段ボール組合と製品の調達に関する協定を締結しています。町でも、この取り組みを。

答 段ボール製品は、有効的な災害用品と考えています。町独自で、段ボール業者とも協定先の候補とし

て、今後調査・研究していきます。

問 県住まいづくり協議会には、中古住宅の流通や子育て世代などの若年層の住み替えを促進するための「安心中古住宅」として登録する制度があります。吉見町の取り組みは。

答 協議会が一定の基準を満たした中古住宅を「安心中古住宅」として登録するもので、安心して購入でき市場の活性化にもつながる制度であると考えられます。町の定住化の施策の中で、中古住宅の購入促進に取り組んでいるので、この制度の有効活用について調査研究していきます。



段ボール製簡易ベッド



就学援助制度の見直しを

》日本共産党 岩田 晃一 議員

問 就学援助制度の入学準備金の支給時期を入学後の8月ではなく、入学前の3月に支給できないか。

答 就学援助の認定は前年の収入で判断する。3月に支給するには前々年の収入で判断しなければならず、前年の収入によっては支給後に取り消される場合もあることから、この件は慎重に考える。

問 支給時期を早められないのであれば、入学準備金貸付制度を作り、無金利で貸し出し、認定をされれば相殺して、認定されなければ1年以内に返済してもらうという方法はどうか。

答 今現在、学校にも教育委員会にもそのような要望はない。認定を受けている人から要望が出てきた時点で慎重に判断していく。

問 入学準備金として支給される金額と実際に入学準備にかかる費用には大きな開きがある。せめて今の

倍は支給すべきと思うが町の考えは。

答 国では新年度から基準単価が倍に引き上げられるため、その基準に基づいて町でも支給していく。

問 国民健康保険の一人当たりの医療費が県内ワースト1位の吉見町の医療費を削減するために、健康寿命を延ばしてもらう目的で、65歳以上の方は町民体育館内にあるトレーニングルーム利用料を無料にできないか。

答 受益者負担の原則に基づき、施設を利用する人と利用しない人との負担の公平性、自主財源の確保の観点からも65歳以上の方の無料化は難しいと考える。

その他の質問

・西が丘小学校体育館裏の土砂災害特別警戒区域の埋め立てについて。



傾斜地の対応は

》神田 隆 議員



問 町内に急傾斜地区域に指定されている区域はありますか。

答 「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」第3条第1項の規定に基づき、埼玉県知事により指定された急傾斜地崩壊危険区域は町にはありません。

問 土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域の指定対象となる傾斜地を高さ5m以上、斜面の傾斜30度以上とした根拠は。

答 指定対象となる基準は、土砂災害防止法に基づき政令により定められています。基準値の具体的な根拠については、過去の崖崩れ災害データの統計により、高さ5m未満の場合には生命、身体に危害を生じないとされることから、高さ5m以上の基準が設定されています。また、急傾斜地法では30度以上が急傾斜地の定義となっており、過去の災害事例においても急傾

斜地の崩壊はほとんどが30度以上となっていることから政令で定めたものです。

問 これまで指定された土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の対象箇所の選定方法は。

答 埼玉県による土砂災害警戒区域の指定に向けた一連の業務の中で、等高線入りの地図(縮尺は2万5千分の1)や航空写真を基に土砂災害警戒区域対象になるとされる危険箇所を選定しています。

問 土砂災害警戒区域の地域の縮小や指定解除を行うことができますか。

答 斜面对策工事や土地の改変により、地形そのものが区域指定の基準を満たさなくなった場合、県の確認を経たのち指定も解除されることがあります。



平成28年3月発行のハザードマップ

吉見町で取り組まれている事業は

▶▶ 尾崎 豊 議員



問 吉見町で宣言されている内容は。

答 自治体の宣言は、基本的に特定のテーマについての宣言という形をとり、自治体としての意思、主張、方針を内外に表明することです。「人間尊重宣言」「平和都市宣言」「ふるさと応援宣言」それぞれ宣言の趣旨をふまえ、事業に取り組んでいます。

問 吉見郷土かるたの改定版の作成を。

答 吉見郷土かるたは平成4年に、町制施行20周年記念事業の一環で作成されました。改定については、現状に合わせた方が良いのか、当時の状況を今に伝えることが良いのかなどを念頭に調査研究していきます。

問 フレサよしみの登録団体と利用者数は。

答 平成27年度の登録団体数は856団体で、町内431団体、町外425団体になっています。

問 利用料金の改定を。

答 県内各文化施設の単価と比較し、ほぼ平均額となっています。現在のところ料金の改定を行う考えはありません。

問 フレサの事業に参加している団体への支援を。

答 町民会館では、さまざまな芸術・文化活動の拠点として、「フレサ若葉祭」「埼玉県芸術文化祭地域文化事業フレサよしみミュージックフェスタ&フラワーフェスタ」「イルミネーションフェスタ」などの自主事業を開催し、芸術・文化活動を行っている団体などの発表の機会と場の提供を行っています。なお、イルミネーションフェスタは、平成29年度、開催15回目となります。補助金を交付し、参加団体の経費の負担の軽減を図るとともに、新たな参加団体を確保していきたいと考えています。



吉見郷土かるた



子どもの貧困対策とひとり親家庭支援

▶▶ 小林 周三 議員

問 吉見町にとって貧困状態の子供が増えるということは、将来働ける人すなわち税金を納めてくれる人が減るということです。若者たちが高齢者を支えているのに、さらに同世代も支えなければならなくなります。子どもの貧困は吉見町の将来に大いに関係します。そこで以下の質問をします。

町内の婚姻届け数、離婚届け数は。

答 平成27年度において婚姻届け数213件、離婚届け数54件です。

問 ひとり親家庭の現状は。

答 母子家庭122世帯、児童数180人、父子世帯10世帯、児童数12人です。

問 ひとり親家庭の就労収入は。

答 ひとり親家庭の医療費の支給対象132世帯の所得分布は、所得金額0円が24世帯、1円以上100万円

未満が31世帯、100万円以上200万円未満が48世帯、200万円以上が29世帯です。

問 貧困家庭に該当する所得区分200万円未満103世帯、155人に対する支援策は。

答 児童手当は2月、6月、10月支給。児童扶養手当は4月、8月、10月支給です。両方合わせて月平均約11万円です。

問 吉見町の小中学校へ通う児童生徒の中で要保護、準要保護児童生徒数は。

答 平成27年では要保護では小学校6名、中学校4名。準要保護では小学校61名、中学校45名。

問 教育支援の内容は。

答 埼玉県主催の要保護・準要保護世帯を対象とした中学生学習教室があり、現在東松山教室へ4名が通っています。





積極的な情報発信で町を活性化

▶▶ 公明党 秋山 真美 議員

問 町内外に積極的に情報発信することは、町の活性化、安全安心の環境作りにも役立つ取り組みである。町が発信している^{*}SNSの閲覧状況は。

答 多いものでは、フェイスブックでは約3千、ツイッターでは約3万の閲覧数。

問 多くの方が見てくださっている。SNSの1つでもあるLINE(ライン)の活用の考えは。また、導入には費用が発生するのか。

答 町の情報を多くの方へ、わかりやすく提供できる手段として検討していく。費用はかからない。

問 昨年4月から始まった安全安心メールの登録者数は。

答 今年2月末現在の登録者数は、528名。2月は東松山警察署からの犯罪情報についてもメール配信を開始し、利用者の利便性の向上に努めている。今後も

引き続き、様々な機会を通じて登録を働きかけていく。

問 今年度も小中学生の保護者に安全安心メールの案内チラシの配布を。

答 警察署からの犯罪情報には管内の不審者情報も含まれているので、配布していく。

問 ふるさと納税の返礼品について、企業や個人からアイデアを募集する考えは。

答 関係課と調整しながら模索していきたい。

問 ブラックバイトなど違法な労働の自主防衛策として、ワークルールやトラブル解決法などを学ぶための出前講座を社会保険労務士会が無料でやっている。

近隣の中学校でも実施されているが、活用の考えは。

答 中学校に対して情報提供していく。

*SNSとは ソーシャルネットワークワーキングサービスの略。インターネット上で社会的ネットワークを構築するサービスの事。



安全安心メール

住民参画で開かれた会議を

▶▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員



問 審議会委員等の一般公募は、町民と行政の協働による町づくりの推進を行うため、住民参画を促進する目的で行われている。公募に漏れた方には、会議の傍聴してもらい、会議終了後に意見を伺うという形で参画してもらってはどうか。

答 公募枠の拡大は、会議の性格によって考え方が異なる。基本は積極的に協働を進めるという立場。

問 公募枠の拡大ではなく、傍聴していただいて意見を伺う機会を作ってはどうかと提案した。公募をされる方は、興味、関心をもって応募していただいていると思うので、非常にもったいない。開かれた会議、住民参画を更に進めるために、すぐできる取り組みとして傍聴を取り入れていくということは、町長の政治姿勢と言っても過言ではない。町長の見解は。

答 会議の運営に対して、効果があるかという点では

非常に難しい。定数がある場合は、多く応募があればどうしてもご遠慮いただくということは仕方のないこと。他の機会もあるので、ぜひそちらの方に応募していただきたい。

問 違反盛土をさせないために、また、されてしまった後の対策として①面積・体積の下限値の撤廃②申請事業者に対する許可の制限③土壌の調査と報告④罰則の強化⑤町の責務や周辺住民に配慮した条例の強化が必要であると考えているが、町長の見解は。

答 大事な提案と受け止めるが、適正な埋め立てがなされるよう指導しながら、今後慎重に検討していかなければならないと思う。

その他の質問

・安全・安心に対する地域の取り組みに補助金制度の創設を





町長は「和解調書」をなぜ守らないのか

▶▶ 戸谷 照喜 議員

問 新井町長は現在の焼却施設建設時、何年後かに老朽化した場合でも再び同じ場所(大串地区)には建てないという地元住民との約束を破っている。

つまり31年前、裁判所が中に入って取り決めた「和解調書」(今後「債務者は、吉見町飯島新田地区、同町江和井地区、同町荒子地区、同町大串地区および川島町内にゴミ処理施設を新設又は増設しない」)を反故にして、ほぼ同じ地域に再建設を進めようとしている。住民を無視した背信行為ではないか。

答 それは誤解である。和解調書は債務者である埼玉中部環境保全組合との約束であり、現在の埼玉中部資源循環組合の一部事務組合とは全く別である。

この件については現在、係争中であり、やがて明らかにされると思う。

問 それは詭弁と言わざるを得ない。確かに一部事

務組合はその後、名称は変わり構成市町村も変わったが、その連続性は一貫している。また地元住民も30数年間、そのままである。一方、一部事務組合の責任者(管理者)はこの間(12年間)ずっと新井町長ではないか。和解調書は判決と同じ重みを持つ。地元住民に対し道義的責任も感ぜず、裁判所の仲裁さえ無視をする、このような姿勢と強引な進め方そのものが許されない。建設場所は町の内外に、他に適地があるはず。それらと交渉しなかったのか。

答 交渉はやっていない。

問 今や「新ゴミ処理施設整備基本計画」は撤回し、白紙にもどすべきだ。

答 私にそのような考えはないし、撤回はできない。



埼玉中部環境センター



町長選挙へ出るのか 出ないのか 後継者は

▶▶ 内野 正美 議員

問 4月の町長選挙は、後継者が決まっているのか。

答 議会初日の施政方針で申し上げたとおりです。

問 3期目の当選後、知事への挨拶の帰り、特別秘書の所に寄り、「4年後頼むから」と言いましたか。

答 4年前のことで記憶も薄れています。また、個人的なことでもあるので明言は出来ません。

問 今年の1月11日、上田知事の所へ行き、「私の後継者だからこの人を下さい」と言いましたか。

答 ここでお答えする内容ではありません。

問 町長選挙に出る、出ない、後継者はこれだということを議会で表明しないのか。

答 議会に続けるとか、やめるとか相談もしないし、すべきではないと思います。

問 施政方針を見た人、聞いた人は、出るともとれるし、後継者に譲るともとれる。また、昨年いろいろな総

会で「町長もう1回出てください」という話はなかったと聞いている。そのような中、町長室に6人の方が集まって、出ると言った人は2名。あとの4人は出るとも、出るなどと言わなかった。そのような経緯はあったのか。

答 ここは公の場なので、私的なことについて申し上げる必要もないし、申し上げるつもりもありません。

問 話が堂々巡りになっている。町長選挙に出るといふ表明があれば、少しは納得するが、意見は。

答 私どもは財政基盤を確実にし、また、生活基盤を整備し、安全安心なまちづくりを進めていく使命があります。ここで改めて来期に立候補することを表明させていただきます。



比企広域市町村圏組合議会定例会

» 伊与田 隆 議員

日 時 平成29年2月8日(水)午前10時から

場 所 東松山市議会議場

出席議員 安孫子和子 伊与田隆

管理者より行政報告の後、議案説明がありました。上程された議案は、人事案件2件、条例の改正5件、補正予算議案4件、当初予算議案5件の16議案です。

..... 付議された主な議案

○議案第9号 平成28年度比企広域市町村圏組合消防特別会計補正予算

既定の予算額に6万6千円を追加し、予算総額を32億1904万7千円とする。

○議案第11号 平成28年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計補正予算

既定の予算額から147万4千円を減額し、予算総額を8495万円とする。

○議案第12号 平成29年度比企広域市町村圏組

合一般会計予算

予算総額は、7600万円です。

○議案第13号 平成29年度比企広域市町村圏組合消防特別会計予算

予算総額は、31億9千万円です。

○議案第14号 平成29年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゆう自動車事業特別会計予算

予算総額は、1億7200万円です。

○議案第15号 平成29年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計予算

予算総額は、6700万円です。

○議案第16号 平成29年度比企広域公平委員会特別会計予算

予算総額は、60万円です。

いずれも原案のとおり可決同意されました。

埼玉中部資源循環組合議会定例会

» 小宮 榮 議員

日 時 平成29年2月9日(木)午前10時から

場 所 吉見町議会議場

出席議員 安孫子和子 岩崎勤 小宮榮

管理者から土地所有者全員の同意をいただき、現況調査、地質調査、土地評価業務等を進めていること。新ごみ処理施設整備基本計画が1月27日の正副管理者会議で決定したこと等の報告がありました。この基本計画では、事業スケジュールの精査の結果、施設の稼働時期が約1年半先送りされています。

なお、上程された議案は、5議案です。

..... 付議された議案

○議案第1号 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正

○議案第2号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及費用弁償に関する条例の一部

改正

○議案第3号 一般職職員の給与に関する条例の一部改正

○議案第4号 平成28年度一般会計補正予算(第2号)

○議案第5号 平成29年度一般会計予算

予算総額は、5億4500万円です。歳入のうち、構成市町村負担金は4億3793万2千円で、吉見町負担金は3148万9千円です。歳出は、議会費564万9千円、総務費4524万5千円、事業費4億8922万4千円、予備費488万2千円を見込んでいます。主な事業として、環境影響評価業務、事業者選定支援業務などを計画しています。

いずれも原案のとおり可決されました。

北本地区衛生組合議会定例会

» 秋山 真美 議員

日 時 平成29年2月20日(月)午前9時から

場 所 北本地区衛生組合議場

出席議員 秋山真美 神田隆 宮崎雄一

平成28年(1月~12月)の搬入量は、2万6601.29kℓで前年より405.11kℓ、1.5%の減量でした。吉見町は、5,466.02kℓで前年より234.86kℓ、4.12%の減量でした。

管理者提出議案は、5議案です。

..... 付議された主な議案

- 議案第1号 議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第2号 管理者及び副管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第3号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

○議案第4号 平成29年度北本地区衛生組合歳入歳出予算

平成29年度予算は、し尿及び汚泥の量を年間2万7千kℓ余とし、それを処理することを計画とし編成するものです。

予算総額は3億1万6千円で、前年度比171万9千円、0.57%の減です。歳入のうち、構成市町負担金は2億9千万円で、吉見町負担金は5616万7千円です。歳出は、議会費727万4千円、総務費9225万5千円、し尿処理費1億9048万7千円、予備費1千万円を見込んでいます。

いずれも原案のとおり承認可決されました。

埼玉中部環境保全組合議会定例会

» 荻野 勇 議員

日 時 平成29年2月20日(月)午後2時から

場 所 埼玉中部環境センター議場

出席議員 尾崎豊 荻野勇 杉田しのぶ 小林周三

最初に管理者から事務の執行状況について報告がありました。平成28年4月から本年1月までの管内から搬入されたごみ量は、可燃ごみ2万9854.88t、粗大ごみ1,006.26t、合計3万861.14tであり、昨年同期と比較して可燃ごみ215.67tの減、粗大ごみ5.41tの増、合計では210.26t、0.68%の減であります。灰の処理は合計3,963.6t、全量をセメント原料として委託しています。

施設の運転管理は焼却炉等定期点検整備委託、計装設備点検整備委託等の点検整備及びプログラム装置修繕等が終了し、良好な運転管理を継続しているとのことです。

..... 付議された議案

- 議案第1号 埼玉中部環境保全組合議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例
- 議案第2号 平成28年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第2号)
- 議案第3号 埼玉県央広域公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
- 議案第4号 平成28年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第3号)
- 議案第5号 平成29年度埼玉中部環境保全組合一般会計予算

予算総額は7億2910万円で、前年度比1986万6千円の減です。

いずれも原案のとおり承認可決されました。

今、なぜメンタルヘルスなのか

平成29年2月2日(木)、フレサよしみで比企郡町村議会議員研修会が開催され、吉見町議会から13名が参加。講師は横浜労災病院の山本晴義氏。心の病も予防や早期発見が重要であるなど職場のメンタルヘルス対策について講演が行われました。



編集方法を視察研修

平成29年1月25日(水)、議会だより編集特別委員会の6名で小川町議会へ。議会だよりの紙面構成や色使い、町民への取材方法など研修しました。



表紙の題字



作山すみこさん 古名新田在住

吉見町母子愛育会会長に就かれて10年目。「吉見町の将来を担う大切な子供達、生まれてからの声かけ(こんにちは赤ちゃん事業)をはじめとして、みんなのちからで、子育ての支援をしていきたい」と優しく語ってくれました。

埼玉県町村議会議長会表彰

安孫子 和子 議長
 小林 周三 議員
 杉田 しのぶ 議員

表紙の写真によせて



4月10日(月)には、6つの小学校と中学校で入学式が行われました。

「みんなと仲良く元気に頑張ります」

編集後記

春は出会いと別れの季節といわれています。入学・進学・就職等人生の様々な節目のなかで新たな出会いが生まれ、夢と希望を胸にちょっぴり不安を心に秘めた新しい人生の出发点に立つ季節です。

私達の編集委員会も今のメンバーになってから2年が過ぎ去ろうとしています。今までご愛読いただき心より感謝申し上げます。次号から新しく改選されますメンバーでの発行となります。今までと同様に皆様のご意見ご感想をお待ちしています。(荻野)



吉見町議会QRコード

議会だより編集特別委員会

委員長 秋山 真美
 副委員長 杉田 しのぶ
 委員 荻野 勇
 委員 尾崎 豊
 委員 戸谷 照喜
 相談役(議長) 安孫子 和子

この議会だよりは再生紙を使用しています。